

資料1-2

第2回会合事前調査結果 まとめ（質問3～5）

注意：

- 短縮版の質問3～4の回答を全て転載。
- 質問5は紙面の都合上「期待」のみを転載。
- 赤字は幹事の抽出した特徴。
- 青字は「期待」と「自覚」に現れた差異。
- 緑字は質問5の回答

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測		
影響評価		
情報仲介 公的機関	<ul style="list-style-type: none"> 必要とされる情報・データの内容、形式、提供方法に関する情報 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼性が高く、ユーザーニーズに合った予測情報の提供予測のロードマップや研究実施前の意見交換の場 気候予測情報を活用するために必要な専門的な知見や適切なコンサルティング ユーザーへの提供を前提としたデータフォーマットの整備やツール類の提供将来変化の科学的根拠、蓋然性などの質問に対する即時的かつ根拠ある回答
情報仲介 事業者	<ul style="list-style-type: none"> 官民の役割分担の明確化 気候予測情報のFree and Unrestrictedなデータ交換原則の確立 気候予測情報等の学術・研究機関のノウハウへのアクセスの確立 科学的に信頼のある定量的なモデルの利活用方法の提供 多様なシナリオ及び定量的な整理された無料の気象データや衛星データの提供 自由かつ迅速に利用できる気候データの提供 利用頻度の高い加工（バイアス補正等）されたデータの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供のタイミング（ロードマップ）や内容に係るコミュニケーション 出来る限り制約のない形でのタイムリーな情報提供 ユーザーニーズに合わせた予測情報の提供 気候予測情報を活用するために必要な専門的な知見や適切なコンサルティング 質問に対する即時的かつ根拠ある回答。
地方公共 団体	<ul style="list-style-type: none"> 予測情報のオープンデータ化（個別に研究者の許諾を得るような方法では、予測成果の利活用は進まない） 将来に後悔しないですむような確かな定量情報とその根拠 不確実性の小さい予測計算、気温バイアスの小さい予測モデルの開発、降積雪量の年による変動や大雪の頻度についての将来予測、日射量の将来予測 	
俯瞰		

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測		
影響評価	<ul style="list-style-type: none"> 気候予測情報をユーザーが必要な分野の影響の情報に適切に加工すること 	
情報仲介 公的機関	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが行う意思決定について理解した上で必要な情報を創出 必要とされる情報・データの内容、形式、提供方法に関する情報の伝達 「情報」にしやすい形の「知見」の提供（予測の前提条件の開示や統一） わかりやすい「情報」を作るための協力 	
情報仲介 事業者	<ul style="list-style-type: none"> 公的役割と民間の役割の明確化 影響評価の評価結果と評価方法の開示、ノウハウへの自由なアクセス 科学的に信頼のある定量的なモデルと結果 多様なシナリオ及び定量的な整理された無料の気象データや衛星データ 多様な分野・指標の影響評価結果 影響に対する経済的な分析 	<ul style="list-style-type: none"> 原理・理論の分析・過去から外挿できない将来の予測・顕在化していない問題の予言 不漁・不作などの事象が発生した際、周期的で回復する（既存の産業は今後も維持できる）のか、直線的で回復しない（既存の産業が消滅する）のかの科学的な予測 データやモデルの公開の積極性 影響評価の確信度や不確実性の伝達パフォーマンスの向上 守備範囲外でも専門家の紹介 研究情報の創出・提供のスケジュールの提示 プロセス云々ではなく、最終的な結果
地方公共 団体		
俯瞰	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティのリーダーシップが取れる人 現場の懸念などの正確な報告 	<ul style="list-style-type: none"> どんな問題意識を持っていて、どう思うのか、という主観的なところの表明 研究機関（の広報部署）にサイエンスコミュニケーターをつなぐ窓口機能の設置 影響予測の研究情報（確信度や入手可能性も含む）の分かりやすく正確な伝達 インパクトのある最先端の、確からしい結果

情報仲介（公的機関）

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測	<ul style="list-style-type: none"> データの収集公開。GUIベースでのデータ加工、切り出し機能の実現。 データをダウンロードしなくても必要な計算をできる機能の提供。 エンドユーザーとの間に入って情報の流れを整理、必要に応じて通訳 新規ユーザーの開拓や既存ユーザーのニーズを取りまとめ 気候予測の改良に役立つ情報提供 情報の流通に必要なインフラの整備やルール化 	
影響評価		<ul style="list-style-type: none"> 必要とされる情報・データの充実度、使いやすさ 科学的に正確でかつわかりやすい「情報」としての発信 影響予測に関するユーザーの要望のとりまとめ
情報仲介 公的機関	<ul style="list-style-type: none"> 情報仲介の官民役割の明確化 既存の情報仲介の結果及びノウハウの公開、共有 	
情報仲介 事業者		
地方公共 団体	<ul style="list-style-type: none"> 専門家向けでも普及啓発資料でもない、ある程度データが整理された、自治体などの利用者が自力で図表や地図化が可能な中間的なデータセットの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 適応策策定に必要な意思決定（判断）への利用に適する情報の提供。 分かりやすく使いやすい情報提供システム。 そのまま政策決定に使える「情報」の提供（幅広い分野の不確実性が低くシナリオ数が少ない予測、いろいろな形（地図、表、数値、文章）での「データ」や「情報」の提供など）
俯瞰	<ul style="list-style-type: none"> 研究成果やIPCCのレポートなどの解説に加え、それらを理解するための勉強の機会（将来の記事に生かすための取材の機会）の提供 メディアを活用することへの期待（メディアは情報を伝えるノウハウを蓄積） 元データの提供と共有の場・機会 	

情報仲介（事業者）

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測	<ul style="list-style-type: none"> • ユーザーの要望に即した使いやすい情報の創出・提供。 • 気候科学を学ぶ学生やポストクの雇用。 • 新規ユーザーの開拓や既存ユーザーのニーズを取りまとめ • 気候予測の改良に役立つ情報提供 • 情報の流通に必要なインフラの整備やルール化、体制整備 • データの受け手への情報理解支援。 	<ul style="list-style-type: none"> • 気候データの活用のデータハンドリングやデータベース化 • 社会の求めるニーズ・ウォンツの集約 • 気候データのあるべき姿に向けた発展の方向性を社会実装の視点からアドバイス • リスクの影響評価と長期的かつ安定的な保険の提供 • 予測・予知による損害の低減の整理、提供及び普及 • サイエンスベースの正確な情報の伝達
影響評価	<ul style="list-style-type: none"> • ピンポイントの天気予報提供や各種の損害保険などの仕組みを使った気候変動影響に関する情報の一般市民の日常生活までの落とし込み。 • （自然現象を相手にする農林水産業において）気候変動に敏感に反応していると思われる事象に関する正確な情報を研究者に提供できる信頼関係。 • 情報のエンドユーザ（国民、企業、自治体等）のニーズの正確な把握 • 「新規性」に縛られない立場を活かした、実用志向の役割の追及 • 海外の情報仲介（事業者）の動向把握 • 気候変動に関する事業を実施・請負にあたって知識や知見のあるメンバーを収集 	<ul style="list-style-type: none"> • 影響評価の社会実装とマネタイズ • 社会のニーズ・ウォンツの集約とフィードバック • 影響評価の社会実装で得られる利益の還流 • より正確な影響評価、詳細な影響評価、72時間後、1か月～6か月、1年後、3年後、5年後、10年後の影響評価 • サイエンスベースの正確な情報の伝達
情報仲介 公的機関		
情報仲介 事業者		
地方公共 団体	AI、システム関係の民間のプラットフォーム会社	
俯瞰	<ul style="list-style-type: none"> • データ連携、ステークホルダーとのコネクテッド、API連携 	

地方公共団体

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動があっても、これまでの議論と成果をキャッチアップ。 影響評価・適応策の専門家の確保。 将来気候変化の啓蒙 	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体にどのような情報を提供すれば、適応策に繋がるのかという情報 必要とするデータの要素、解像度、対象年代等、モデルを回すための情報 気候予測の不確実性への理解。また、発生確率で表示される事象のへの理解
影響評価		
情報仲介 公的機関	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体の現場で適応策策定にどんな意思決定（判断）が必要であるかの例 情報のニーズと使い方に関する情報提供 「情報」の正しい活用、そのためのコミュニケーションやネットワークの促進 	
情報仲介 事業者		
地方公共 団体		
俯瞰	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動対策に関して、関連部署に横串を通すような仕組み 気候変動対策の窓口になるような部署の設置 どの部署でも気候変動情報を活用するためのキャンペーンビリディング 適応策検討プロセス、モデルづくり、社会実装等での協力・連携 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で起きている気候変動影響に関する事例や、適応策に関する取り組み事例 対策の決定と実施に係る詳細情報の開示と直感的に理解可能なメッセージの発信

農業や土木に関するコミュニティの研究者や省庁、地方公共団体職員

- 適応策を行う主体である、農業や土木分野のコミュニティが適応策についてどのような考えを持っているのか、また、適応策推進のための隘路は何だと考えているのかといった情報。

	他の主体から期待されていること（期待）	予想している期待（自覚）
気候予測		
影響評価	<ul style="list-style-type: none"> 自然科学は人為的なものを検討対象から排除しようとするため、「人為的な温室効果ガス排出に伴う気候変動」という課題や、「人類生存のための緩和・適応の実施」という目的も自己矛盾を起こし、情報伝達や社会対話におけるちぐはぐさの原因になっている。こうした研究者が抱える矛盾や悩みに対する俯瞰的な視点・考え方の提供 一般国民と農林水産業従事者は消費者と生産者であり、立場や価値観が異なる。双方に対して気候変動予測の研究活動の現状説明とその意義を正しく理解してもらうサイエンスコミュニケーターとしての役割 国民目線、政策決定者目線、外国目線などの多様な観点からの、「情報の流れ」の議論に関する批判的確認および助言 マスコミ等に対して、気候予測や影響予測について、100%の正解やインパクトのある結果のみを求めすぎないで欲しいと思っております。 	
情報仲介 公的機関		<ul style="list-style-type: none"> （メディア）「もっと勉強すること」「（専門用語を安易に書き換えず）正確な記事」 （メディア）情報を仲介する専門家の方々と日常的にコミュニケーションを取ること
情報仲介 事業者		
地方公共 団体	<ul style="list-style-type: none"> 適応策の社会実装で重要なのは、自治体施策や事業計画、個人の暮らしを、気候が変化するということを前提として考えること（気候変動の主流化）である。社会的なムーブメント作りへの貢献 対策の決定と実施に至る前提と過程を含めた全体像の理解とその上での意見表明 	<ul style="list-style-type: none"> メディアに何を求めているかよく分からないというのが正直なところ （NPO/NGO）市民参加・協働のためのコーディネート
俯瞰		

まとめ

注：分析の途中。暫定的なまとめ。

主体	まとめ
気候予測	精緻なデータの提供と意見交換が求められていると自覚しているが、データのオープン化や（文章化された？）ノウハウのアクセスが期待されている。
影響予測	予測の高度化が求められていると自覚しているが、データのオープン化や政策での利用シーンを想定したデータの提供が期待されている。
情報仲介（公的機関）	データや情報の分かりやすく使いやすい開示が求められている、というところで期待と自覚は一致している。実現には予測に関するユーザーの要望のとりまとめが必要。
情報仲介（事業者）	社会実装と社会ニーズの集約が求められている、というところで期待と自覚は一致している。「利益の還流」「1年後の正確な予測」などのキーワードが気候予測～公的機関の意見からは出てこない。
地方公共団体	エンドユーザとしてどんな時にどんな情報が必要なのかを開示することが求められている、というところで期待と自覚は一致している。適応策推進にあたって庁内の部局間の意思疎通や人事異動に対する対応が随所で指摘されている。
俯瞰	市民参加の実践や記事の作成など、中心的な業務をしっかりとることが求められていると自覚しているが、国内外情勢の俯瞰者、サイエンスコミュニケーター、社会的なムーブメントの醸成など、業務を超えた機能が期待されている。